カレーは豚肉で、家で作る派です！
佐々木悦子さん／29歳
亀田綾子さん／27歳

カレーは作る派？外食派？

メインの具は？

うちメシブームの影響か、カレーは家派が多め。普段は豚や鶏だが、奮発するときに牛肉を使うという声も。

新ネタパンチャー
推薦人・サオリム
カレーの夜はごはん3合を1人で消費。育ち盛りのフリーライター。

新ネタ千円パン

森下千里 石田純一 新山千春 武蔵 ラサール石井

『芸能人カレー部』のこだわりカレーがマジで旨いっ！

7000杯以上

"前世がインド人"と自負するカレー部部長。食べたカレー総数は余裕の7000杯超え!! 週の半分はカレーだとか。ちなみに職業はスタイリスト。

超注目の新店に、T★1読者限定"欲張りトッピング"を早速おねだりしちゃいました〜っ♪

おでかけ派

"千里風味"の絶品カレーを召し上がれ♥

★森下千里
ちょっと贅沢なカレー 600円

生クリームとバターを加えてマイルドな口あたりに仕上げている。辛いモノが苦手な人にもオススメ!!

※写真はT★1オリジナルトッピングセットのせ800円

3辛

「T★1オリジナルトッピングセット」を作ってもらっちゃいました!

ゆで玉子と薄切り豚しゃぶ、季節野菜の素揚げがぜ〜んぶ楽しめるオリジナルトッピング¥200。メニューにはないので「T★1見た」でオーダーを。10/20㊎〜11/1㊐の期間限定。

出店加速中の注目店にさっそくおねだり♪

巷でウワサの「芸能人カレー部」にはもう行ってみた？ 連日大盛況のこのお店に早速交渉。T★1だけのオリジナルトッピングを作ってもらったよ♪

元々芸能界の秘密結社として活動していた「カレー部」。自信作を持ち寄って、批評し合っていたのが始まりなんだって。今回カレーを考案した5人は部の主力メンバー。幽霊部員も含めると50人を超えるそうで、色々な人のカレーが今後増えていく可能性も。部員達の本気カレーはセレブ系から体育会系まで7種類。入部した気分で食べ比べを楽しんでみては!? 近日中には2号店もオープン予定。さらには全国展開の予感……詳しくは副部長・千里ちゃんのブログで!! あ、オリジナルトッピングの注文もよろしくドウゾ〜。

芸能人カレー部 赤坂店 赤坂

㊟東京都港区赤坂2-14-28 風月堂ビルB1 ☎03-3560-1850 ㊡11:00〜22:30(22:00㊋)、土日祝11:00〜21:30(21:00㊋) ㊡なし ㊥39席 ㊫地下鉄千代田線赤坂駅2番出口よりすぐ

そのほかのカレー部員のカレーはこちら!

★カレー部 部長
部長カレー 550円
野菜の旨味をたっぷり効かせ、ココナッツクリームをアクセントに加えた鶏肉のキーマカレー。
3辛

★石田純一
ヨーロピアンカレー 680円
3種のスパイスが香る辛口カレー。リッチで、セレブな味わいの自ーロピアンテイストだ。
5辛

★武蔵
体育会系カレー 620円
野菜とフルーツをベースにした味わい深いソースに、香辛料をガツンと効かせたパワフル系。
5辛

★新山千春
野菜キーマドライカレー 580円
数種類の野菜とフルーツ、スパイスなどをバランスよく合わせた大人向けのドライカレー。
4辛

★ラサール石井
牛すじカレー 950円
炒めタマネギとトマトを加え、赤ワインで煮込んだ大人カレー。ぼっかけ(＝牛すじ煮)入り。
3辛

※写真は薄切り豚しゃぶのせ800円　※写真はチキンのガーリック炒めのせ930円　※写真はビーフステーキのせ1020円　※写真は季節野菜の素揚げのせ880円

P

"T★1見たよ"で「T★1オリジナルトッピングセット」を合計130名に無料サービス!

10/20㊎〜11/1㊐の本誌発売期間中、注文時に"T★1見たよ"と伝えれば、各日先着10名に「T★1オリジナルトッピングセット(200円)」を無料でトッピングしてくれます!(カレーの料金はかかります)

おこもり派

カレー部裏技 伝授 おうちカレーも驚きの味に!

ひと手間でカレーがみるみる旨くなる!? 部長と森下千里チャンの秘技・裏技を公開!!

❸ コクのあるカレールウはビールで煮れ!

水を一滴も使わない代わりに、ビールで煮込んでみるのもいい。肉もやわらかくなるからね。苦味? スパイスたっぷりだからほとんど気にならないよ。もちろんワインで煮てもOK!(by部長)

❷ レトルトカレーもジャムで一工夫せよ!

ジャムがない時はジュースでもOK! イチオシはマンゴージャム。香りがとってもいいし、コクが出るの。残り物のフルーツをすりおろして入れてもグー♥(by千里チャン)

❶ 肉・野菜の前にスパイスを炒めよ!

ニンニク、ショウガ、唐辛子は最初に炒めて! 香りが出てきたら野菜やお肉をお鍋にIN!! 具にもしっかり香りがしみ込むので、本格度がグ〜ンとUPします♪(by千里チャン)

撮影／田中秀典